

オリエンテーション（1～2 / 2・1～2 / 1 2）

【本時の目標】

函館市で生産されているイカのしおからやコンブについて興味・関心を持ち、調べようとする意欲をもつことができる。

【学習展開例】

- ①函館市で生産されている食べ物で知っていることを話し合う。
- ②函館市で生産されているイカのしおからやコンブについて調べようとする意欲をもつ。

【資料・留意点】

- 単元「買い物」の学習を応用して、身近で用いられている食品に目を向けさせる。
- 食べたことがあるかや、好きか嫌いかわ、作り方を知っているかなどを手がかりとして子どもの意欲を高める。

1. しおからをつくる仕事

工場見学の計画を立てよう（1 / 7・3 / 1 2）

【本時の目標】

しおからづくりについて調べたいことを話し合い、水産食品工場を見学するための計画を立てることができるようにする。

【学習展開例】

- ①見学する工場や見学の日時や日程を知る。
- ②調べることを話し合い「見ること」「聞くこと」をまとめる。
- ③②の活動をもとに見学をお願いする手紙を書く。
- ④記録の方法を知る。

【資料・留意点】

○見学のお願いの手紙や電話の仕方については教科書を参考にする。また、国語の学習との関連付けを図る。

◇見学先・情報収集先

- ・株式会社 武田食品 4 3—1 1 1 0
- ・株式会社 布目 2 2—9 1 0 1

しおからはどうやってつくるの (2 / 7・4 / 1 2)

【本時の目標】

水産食料品工場を見学して、工場の中の様子やしおから作りの工程、製品の種類や量についてつかむことができる。

【学習展開例】

- ①しおからができるまでを見学する。
- ②温度管理の大切さを知る。
- ③金属探知機がついていることを知る。
- ④いろいろな包装の仕方があり、機械化されていることを知る。
- ⑤製造年月日が印刷されていることを知り、その理由を予想する。

【資料・留意点】

- 特に温度管理が大切であることをつかませる。
- 工程の多くに金属探知機があることを気づかせるように促す。

ふしぎな部屋 (3 / 7・5 / 1 2)

【本時の目標】

水産食料品工場の設備や働く人たちの服装について調べ、工場では特に衛生に気をつけて生産していることをとらえることができる。

【学習展開例】

- ①エアーシャワーを見学し、なぜ必ず入らなければならないのかを予想し、説明を聞く。
- ②働いている人の服装が白であることを知り、その理由を考える。
- ③工場に入るまでの過程を知り、衛生に気を配っていることに気づく。

【資料・留意点】

- 衛生のためには、施設はもちろん働く人の心掛けが大切であることを強調したい。

どんなしごとがあるのかな？（4／7・6／12）

【本時の目標】

水産食料品工場で働く人たちがいろいろな仕事を分担していることをとらえるとともに、人の役割が不可欠であることに気づくことができるようにする。

【学習展開例】

- ①見学したことをもとに機械化が進んでいる事を知る。
- ②機械化が進んだ一方で、どんな仕事があったかを考える。
- ③製造工程，検査，開発研究室，事務室等で働いている人がいたことを想起する。
- ④③で働いていた人たちが，具体的にどのような仕事をしていたかをまとめる。

【資料・留意点】

- 機械化が進んでいる中でも人間の役割が大切であることに気付かせたい。

どのようにはたらいっているのかな（5／7・7／12）

【本時の目標】

水産食料品工場で働く人たちの働く時間や休憩時間，働く人たちのための施設などをとらえることができるようにする。

【学習展開例】

- ①工場で働く人の人数や通勤状況について知る。
- ②働く時間帯や休憩時間の過ごし方を知る。
- ③働いている人の苦勞を知る。

【資料・留意点】

- 工場の規模によって仕事の種類も勤務時間帯も異なるが，工場では働く人のために様々な施設を整えていることをとらえさせたい。

げんりょうは、どこから？（6／7・8／12）

【本時の目標】

原料のイカがどこから運ばれてくるのかを調べて、地図や表にまとめる活動を通して、自分たちの市と外国とのつながりに気づくことができる。

【学習展開例】

- ①原料のイカが、どこから運ばれてくるのかを知る。
- ②地図や表にまとめる。
- ③日本近海産よりも外国産のイカを多く使用していることを知り、その理由を考える。

【資料・留意点】

- 外国（ペルー・アルゼンチン・ニュージーランド）等についておおよその場所を把握させたい。

しおからは、どこへいくの？（7／7・9／12）

【本時の目標】

水産食料品工場で作られた製品が「どこへ」、「どのように」して運ばれているかを調べ、工場の立地の工夫や自分たちの市と国内の他地域とのつながりに気づくことができる。

【学習展開例】

- ①製品が「どこへ」運ばれているのかを知る。
- ②製品が「どのように」運ばれているのかを知る。
- ③①②の学習を通して工場の立地条件の工夫に気づく。
- ④函館市と他地域とのつながりに気づく。

【資料・留意点】

- 工場の規模によって仕事の種類も勤務時間帯も異なるが、工場では働く人のために様々な施設を整えていることをとらえさせたい。

コンブをとる仕事 (1 / 3・10 / 12)

【本時の目標】

コンブ漁が家族全員で行われていることや使用されている道具、乾燥の方法を知り、漁師さんの苦労や工夫を知る。

【学習展開例】

- ①コンブ漁を通して函館市の漁業の様子について知る。
- ②その中からコンブ漁に着目し、子供たちを含めた家族総出で行われている事
や使用されている道具を知る。
- ③乾燥方法には2種類あることを知る。
- ④漁師さんの工夫や苦労を考え、まとめる。

【資料・留意点】

- 家族みんなでコンブ漁を行っていることを通して、コンブ漁の苦労を考えさせたい。
- ◇東部で水揚げされているコンブは、真コンブという品種である。

育てる漁業 (2 / 3・11 / 12)

【本時の目標】

コンブ養殖の施設や暦から、1年を通しての漁師さんのコンブ養殖の苦労や工夫を知る。

【学習展開例】

- ①函館市の養殖昆布の様子や養殖施設について知る。
- ②コンブの養殖暦から養殖の1年間の仕事を知る。
- ③漁師さんの工夫や苦労を考え、まとめる。

【資料・留意点】

- 水揚げするのは夏場であるが、コンブを養殖するためには、1年を通してたくさんの手間があることを知らせる。
- ◇取材先
 - ・南かやべ漁業協同組 (JF南かやべ) 25-3004

コンブの出荷（3／3・12／12）

【本時の目標】

水あげされたコンブがどのように流通し、どのように利用されているかを知るとともに、漁業協同組合の役割について知る。

【学習展開例】

- ①コンブの流通の様子を知るとともに、どこでどのようなことが行われているかを知る。
- ②漁業協同組合の仕事を知る。
- ③コンブが関西方面や北陸地方に多く運ばれている事や商品に加工されている事を知る。

【留意点・資料】

○コンブは、北陸地方や関西方面へ主に出荷されていることを知らせる。

◇取材先

・南茅部直販加工センター TEL 0138-25-5574 （川汲）

時間数はあくまでも目安です。

小学校教育課程編成資料第3学年及び第4学年では、13時間扱いとしています。

各学校の実態に合わせて変更してください。